

弟橘媛の故郷「古代たちばなの散歩道」

日時:2016年10月2日(日) 天候:晴れ 16000歩 約11km

集合:JR南武線武蔵新城駅 10時

コース:武蔵新城駅→江川せせらぎ遊歩道→巖川橋→子母口貝塚→橘樹神社→たちばな古代の丘緑地→野川神明社
→影向寺→市民プラザ→西福寺古墳→梶ヶ谷駅→武蔵溝ノ口駅(解散)

参加者:小島重(L) 熊島(SL) 中村ゆ(SL)

佐藤伊 勅使河原 吉越 平嶋 神谷 戸田 熊坂 仲 大平 奴田 高橋文 小野里 青松秀 平山 奈良 藤原
深瀬 中村年 小林 河野 福士 山川 市村 平林勝 志村 小島ま 桑原 塩川 武倉 木村 高塚 青松美
加納喜 加納富 奥村 市川夏 東ヶ崎 長廣 計41名

日本武尊の妻である弟橘媛の故郷と云われる、川崎市の北西に広がる野川地域を散策しました。ここは奈良時代に橘樹郡の郡衙(ぐんが)があった場所で、発掘調査により数棟の建物が並んでいたことが分かりました。当時の橘樹郡は、現在の川崎市と横浜市の一部が含まれる地域で、四つの郷(橘樹・高田・御宅・縣守)からなっていましたが、その中心を成すのが郡衙で、今で言えば市役所にあたります。その郡寺とも言うべき影向寺(ようごうじ)は、白鳳から奈良時代の創建と云われ、川崎市内では最も古い寺です。また子母口貝塚が残る丘陵の先端部は、縄文時代には眼下に海が広がる場所でした。今回はそのような縄文時代から奈良時代に思いを馳せながら、KWCの“媛君”と共に古代たちばなの道を歩きました。

<フトレポート 小島重>



<影向寺薬師堂前で。堂内には本尊でもある国重要文化財の薬師如来両脇侍像が鎮座しています>

※影向寺:聖武天皇の妃である光明皇后の病平癒のため、帝から遣わされた行基菩薩により創建されたと云われる伝説を持つ川崎市内最古の寺ですが、実際には当時の地元有力豪族による創建だそうです。現在のご住職は文化財・遺跡保存に意欲的で、また地元にも境内を自由に開放し、年間を通して各種イベント等も開催している。



集合場所の南武線武蔵新城駅改札口。



改札前には“現代の弟橘媛”（？）たちが勢ぞろい。



駅前商店街の裏道（KWCの得意技）を歩きます。



バス通りに沿って「江川せせらぎ遊歩道」が。



せせらぎ緑道脇の公園で佐藤伊さんによるストレッチ。



陽ざしを避けて木陰を歩きます。



せせらぎには鯉や小魚も見られます。



突然現れた飛行船！青空に悠然と浮かんでいます。



くっきりとした影が・・・予報では曇りのはずでは？



ここからは結構な上り坂です。



子母口貝塚に到着。



縄文時代は崖下まで海でした！



橋樹神社に到着。日本武尊と弟橘媛が祀られています。



今日は祭礼の為、本堂の中が解放されていました！

※橋樹神社:この神社は、永徳4年(1384年)の文献に「立花宮」として載るなど、中世にまで確実に遡ることができる古い神社で、「橋樹」の名を冠しているとともに、古代の役所である郡衙の周辺には、寺院や神社が置かれることが多いことから、影向寺とともに橋樹郡衙設置前後に建てられた可能性があり、古代川崎の歴史を示す貴重な文化財といえる。

またここは古くからの子母口村の鎮守で、日本武尊と弟橘媛の男女2 軀の神体を祀り、かつては立花社ともいわれていた。社伝によると「日本武尊東征の際に海が荒れ、弟橘媛はその身を投げ海を鎮めた。やがて入水した媛の衣・冠の具だけがこの地に漂着した」とある。また古事記でも「かれ七日ありて後に、其の後の御櫛海辺によりきたりき。すなわち、その櫛を取りて御陵を作り治め置きき」と伝えられている。社の北方には弟橘媛の御陵といわれる富士見台古墳がある。

ただし現在の考古学・地質学の通説では、奈良時代の海岸線は今の川崎駅付近にあったとされているので、媛の遺品がこの橋樹の地に流れ着いたというのは、あくまで伝説上の物語といえる。なお弟橘媛は地元豪族の娘で、景行天皇に采女として召し出され日本武尊の妃となった。(以上は各資料等から抜粋)



弟橘媛の御陵といわれる富士見台古墳。この解説板にはご丁寧に「その真為のほどは不明」とある！



中原街道を渡り上り坂になります。

空は青空、心もウキウキ・・・とはいかないこの暑さ！



橘樹郡衙跡地に着きました。説明版を熱心に読む人、全く興味のない人・・・この下も遺跡だったかも。



品の字配置の倉庫群
官衙創設期(Ⅰ期)の倉庫群の中でも正倉として中心的な役割を担ったと考えられる

当時の郡衙群にあった正倉の図。この場所は千年伊勢山台遺跡となっています。(Web サイトより借用)



たちばなふれあいの森に寄りますが・・・蚊が！



昼食の前に野川神明社でトイレ休憩。(早くランチの声も)



影向寺に到着しました。国史跡指定の横断幕が。



ここが山門。フラ・タヒチアンショーとは粋な寺です！



本堂前にはピンク色の百日紅。



影向石。この水が目が良い？



境内にある聖徳太子堂です。



重文に背を向けて薬師堂でのランチタイム。電線にとまったスズメみたい！(下見時にご住職から了解済み)



鎌倉辺りの寺では重文のある本堂での飲食は出来ませんが、この寺では快く受け入れてもらいました。



本堂（薬師堂）には含蓄ある提灯が吊るされています。思い当たる人もいるのでは？



影向寺の塀沿いから午後の部スタート。



川崎市民プラザに立ち寄ります。



回遊式日本庭園でトイレ休憩。あとのどのくらい？



ベンチに座って・・・まったりと休憩中の女性陣！



下りたら上る。休憩後の急坂は膝にくる~~~~



ここを上らないと帰れないので仕方なし？



梶ヶ谷第三公園に到着です。



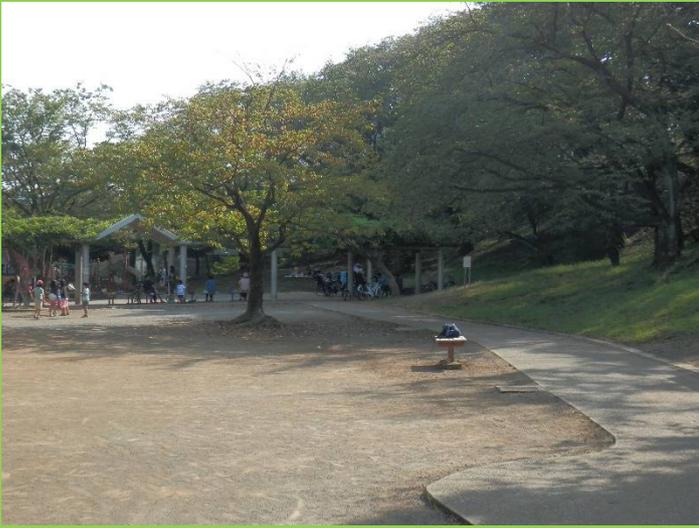
ここには市内最大の西福寺古墳があります。



笹をかき分け上ると・・・



頂上では皆さん談笑中ですが、何か？



梶ヶ谷第一公園で最後のトイレ休憩。



もう座り込んでいる人も。お疲れ様、もうすぐですよ。



けやき公園で佐藤伊さんのクールダウンで締め。



吉越さんから連絡事項があり、ゴールへ向かいます。

※最後は南武線武蔵溝の口駅で解散となりました。
今日は10月にしては夏のような気温で、皆さんさぞお疲れのことと思います。でも木陰に入ると涼しさを感じられ、本格的な秋はすぐそこまで来ているようです。このコースには、これと言ってメジャーなポイントはないものの、川崎の歴史を辿る「古代たちばなの散歩道」を楽しんで頂けたかと思います。

なおアフターは21名で駅前の「日本海庄や」にて。新入会の東ヶ崎さんと、当日入会が決まった長廣さんも参加し、大いに盛り上がりました。



←解散場所の武蔵溝の口駅